
2011年度決算及び
2012年度業績見通し・中期経営計画
説明資料



星光PMC株式会社
2012年5月24日



目次

◇ I. 事業概要	P2
◇ II. 2011年度 決算概況	P3～4
◇ III. 2012年度 業績見通し	P5～6
◇ IV. 中期経営計画「CS VISION- I」 (2012年度～2014年度)	P7～17

<予想に関する注意事項>

本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。



➤ 製紙用薬品事業

サイズ剤
紙力増強剤
印刷適性向上剤
製紙用補助薬品



紙 新聞用紙
印刷・情報用紙
家庭紙 他

板紙 段ボール原紙
紙器用紙 他



➤ 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂

平版インキ
グラビアインキ
新聞インキ
フレキシソインキ

記録材料用樹脂



トナー



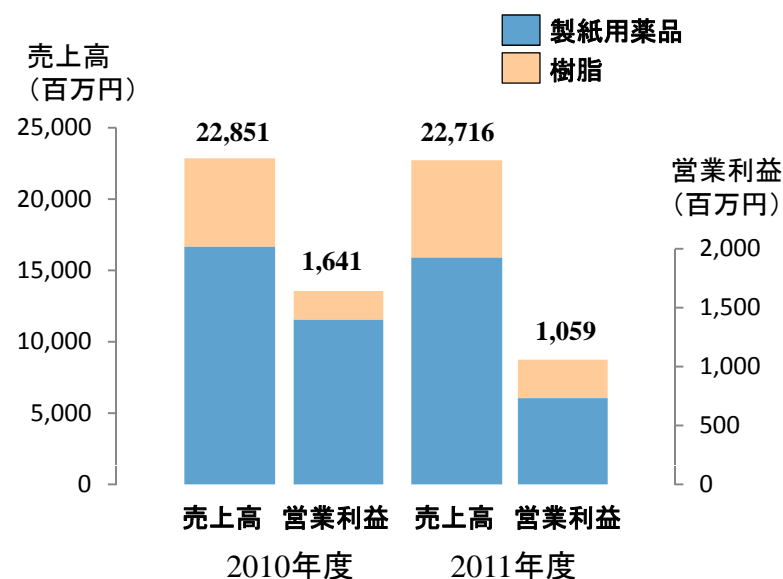
Ⅱ. 2011年度 決算概況



➤ 2011年度決算（連結）

	2010年度	2011年度	差異	増減率
売上高(百万円)	22,851	22,716	-135	-0.6%
製紙用薬品	16,669	15,915	-754	-4.5%
国内	15,257	14,498	-759	-5.0%
海外	1,466	1,489	+23	+1.6%
調整	-54	-72	-18	-
樹脂	6,182	6,801	+619	10.0%
営業利益(百万円)	1,641	1,059	-582	-35.4%
営業利益率	7.2%	4.7%	-2.5pt	-
製紙用薬品	1,400	733	-667	-47.6%
国内	1,467	921	-546	-37.2%
海外	-59	-165	-106	-
調整	-8	-23	-15	-
樹脂	241	326	+85	+35.3%
経常利益(百万円)	1,677	1,106	-571	-34.0%
経常利益率	7.3%	4.9%	-2.4pt	-
当期純利益(百万円)	1,079	349	-730	-67.6%

- ・売上高: 製紙用薬品の販売低調により減収
- ・営業利益: 販売減と原燃料価格高騰により減益に
- ・当期純利益: 中国張家港工場の減損処理により減益に



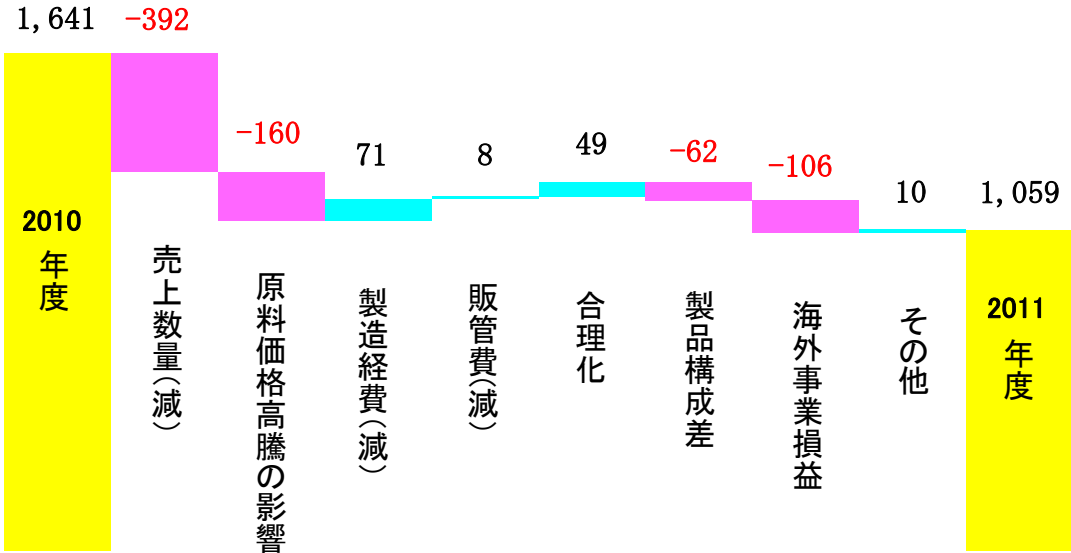


II. 2011年度 決算概況

➤ 営業利益増減内訳

2010年度→2011年度

1,641 → 1,059百万円 (-582百万円 -35.4%)



- ・製紙用薬品の売上数量減 = -392百万円
- ・原料価格高騰による影響 = -160百万円
- ・海外事業(中国)の損益悪化 = -106百万円

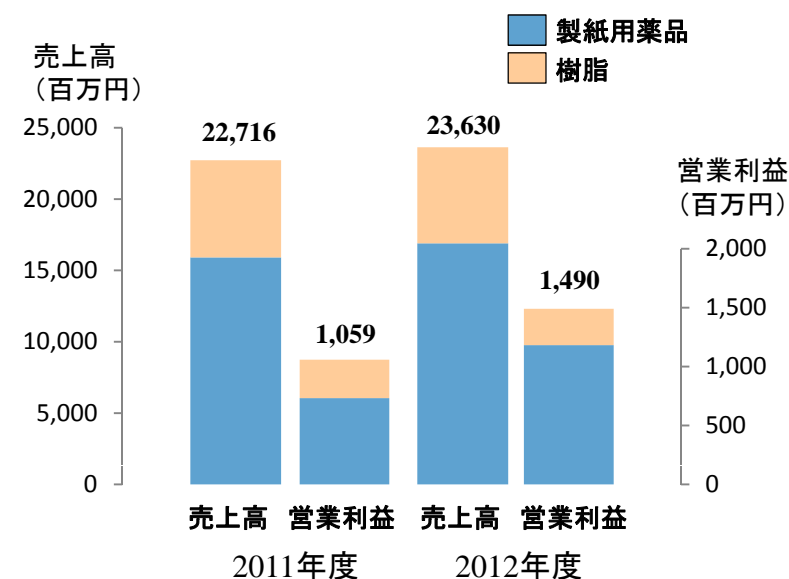
Ⅲ. 2012年度 業績見通し



➤ 2012年度業績見通し（連結）

	2011年度	2012年度 (見通し)	差異	増減率
売上高(百万円)	22,716	23,630	+914	+4.0%
製紙用薬品	15,915	16,893	+978	+6.1%
国内	14,498	14,810	+312	+2.2%
海外	1,489	2,083	+594	+39.9%
調整	-72	-	+72	-
樹脂	6,801	6,737	-64	-0.9%
営業利益(百万円)	1,059	1,490	+431	+40.6%
営業利益率	4.7%	6.3%	+1.6pt	-
製紙用薬品	733	1,182	+449	+61.3%
国内	921	1,182	+261	+28.3%
海外	-165	0	+165	-
調整	-23	-	+23	-
樹脂	326	308	-18	-5.5%
経常利益(百万円)	1,106	1,560	+454	+41.0%
経常利益率	4.9%	6.6%	+1.7pt	-
当期純利益(百万円)	349	1,060	+711	+203.0%

・売上高: 製紙用薬品(含む海外)の拡販により増収に
 ・営業利益: 売上増・販売構成の高利益率化により増益に



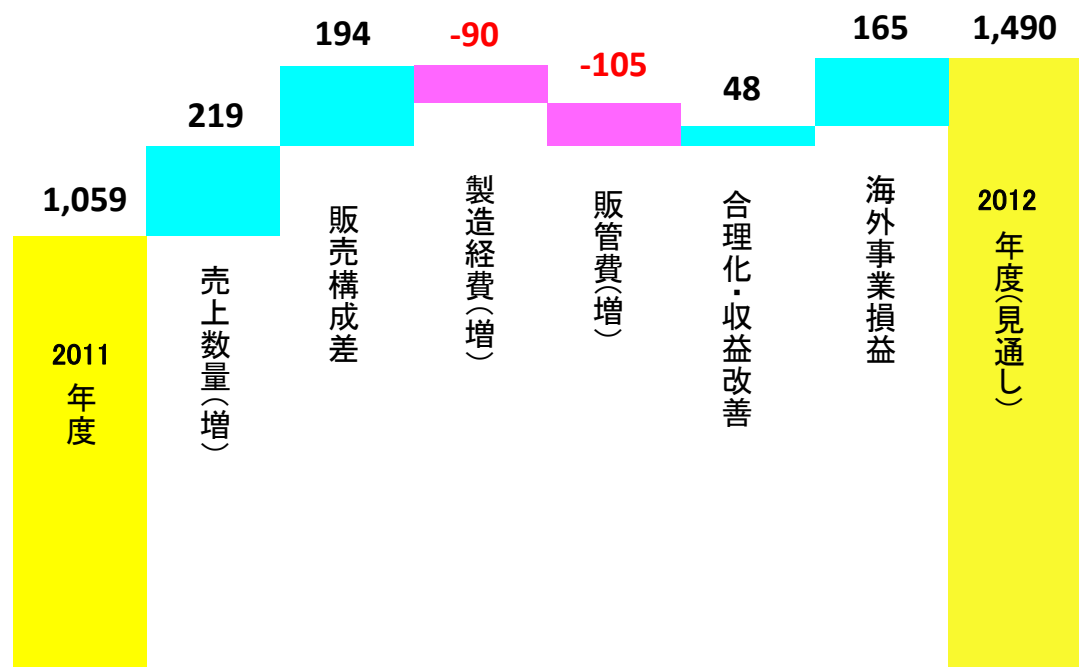
Ⅲ. 2012年度 業績見通し



➤ 営業利益増減内訳

2011年度→2012年度（見通し）

1,059 → 1,490百万円（+431百万円 +40.6%）



- ・売上増・販売構成の高利益率化 = +413百万円
- ・人件費を初めとする製造経費・販管費の増加=-195百万円
- ・海外(中国)事業の収支改善 = +165百万円

IV. 中期経営計画「CS VISION – I」(2012年度~2014年度)



- 当社は、設立50周年にあたる2017年度に
 連結売上高350億円、営業利益率10%
を達成することを目標として設定
 - 地域・分野双方での事業領域の拡大と、柔軟で筋肉質な企業体質への変化を志向

- 「CS VISION – I」(2012年度~2014年度)は、上記の
目標達成へ向けた第1ステージの位置づけ
 - 「**CS VISION**」: お客様へのChemical Solutionの提供により、
Customer Satisfactionを実現し、お客様と社会への貢献を
通じてCorporate Sustainability を確固たるものにしていく、
という思い

- 「住みよい社会、豊かな未来の創造に貢献する」という当社の
経営理念



～ **会社も生き生き、社会も生き生き** ～

V. 「CS VISION – I」(1)基本方針



➤ 選択と集中

- 当社の強みが活きる成長分野・製品への資源の重点配分

➤ 事業領域の拡大

- 地域～中国・東南アジアを中心とした成長市場への業務展開の加速
- 業務分野～エレクトロニクス関連材料、再生可能な環境材料に重点を置いた新規業務分野の開発・事業化

➤ 外部資源の活用

- 強みを補完する提携、事業領域の拡大を加速する企業買収の推進

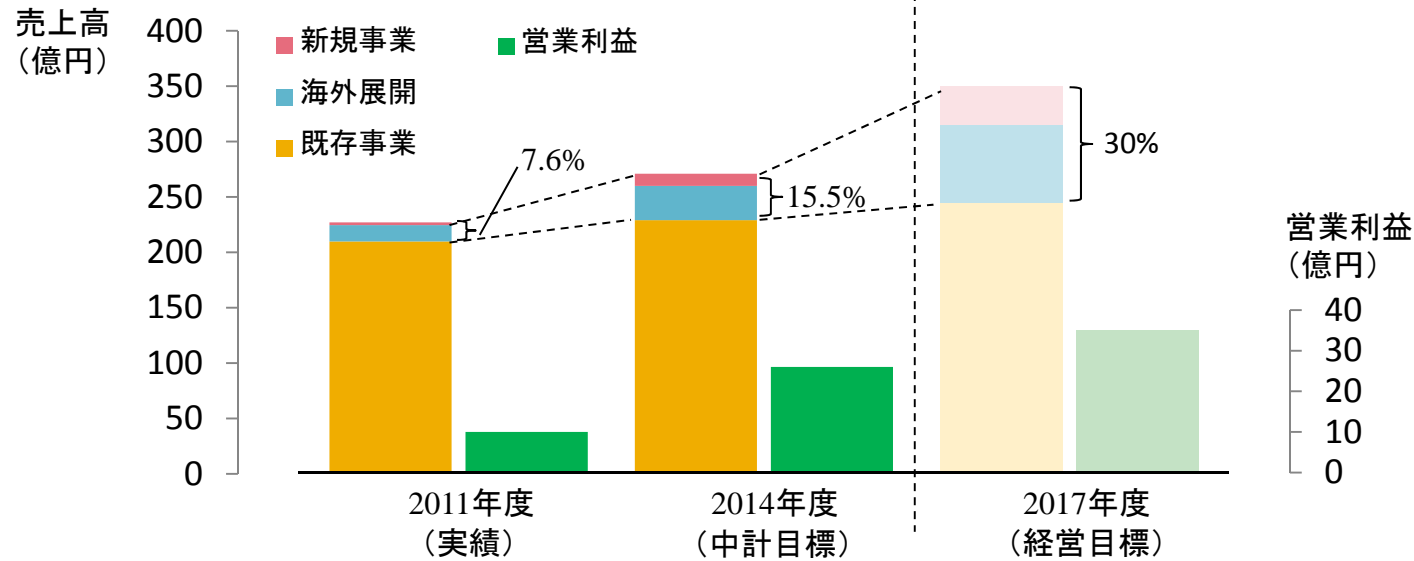
➤ 筋肉質の企業体質へ

- 選択と集中、新たな業務分野への進出に伴う生産体制の統合・再編等を通じた柔軟で筋肉質の企業体質への変換
- グローバル環境下での人材基盤強化に資する人事施策の推進

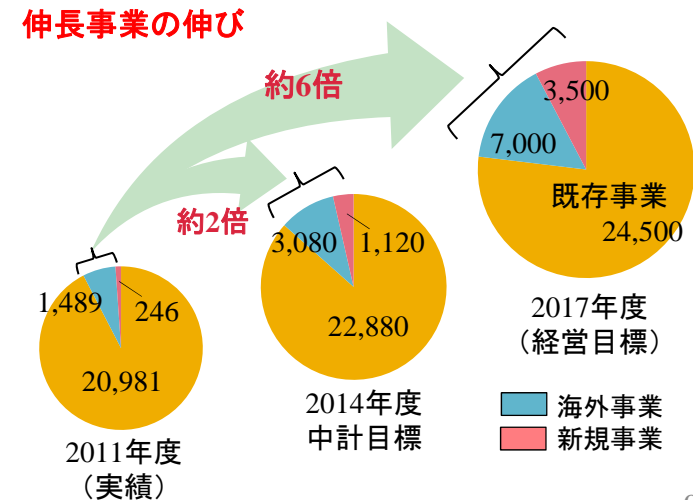
V. 「CS VISION – I」(2) 数値目標



➤ 成長市場への進出・新規分野開拓を中期的成長のドライバーに



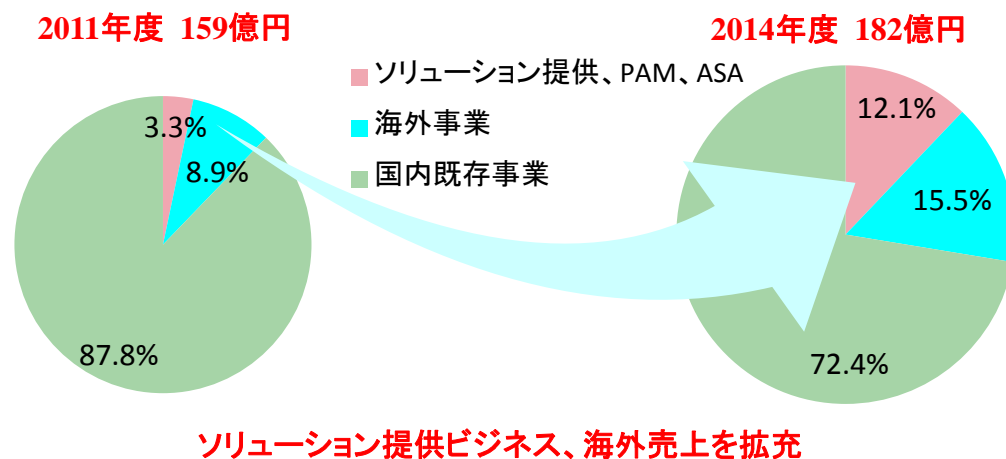
	2011年度 (実績)	2014年度 (中計目標)	2017年度 (経営目標)
売上高(百万円)	22,716	27,080	35,000
既存事業	20,981	22,880	24,500
海外事業	1,489	3,080	7,000
新規事業	246	1,120	3,500
合計("伸長事業")	1,735	4,200	10,500
営業利益(百万円)	1,059	2,620	3,500
営業利益率	4.7%	9.7%	10.0%



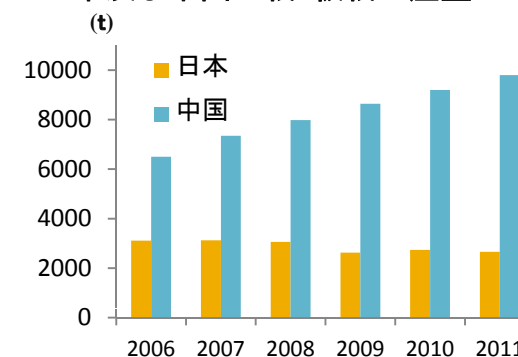
V. 「CS VISION – I」(3) 部門戦略－製紙用薬品事業



- 成熟した国内市場において、顧客のニーズを的確に捉えるソリューションの提供を軸に事業基盤を強化し、培った技術を持って海外展開を加速
 - 操業性向上、品質安定化、省資源に向けたソリューション提供
 - ✓板紙アルカリ抄紙システムの推進
 - ✓紙、板紙の軽量化、高灰分化に適合したシステムの開発
 - ✓紙力剤、サイズ剤等各種の基盤となる薬品の高性能化
 - ✓ロジンサイズ剤からASAサイジングシステムへの置換
 - 中国での拡販、東南アジア(タイ、ベトナム等)での市場開拓



日本及び中国の紙・板紙生産量

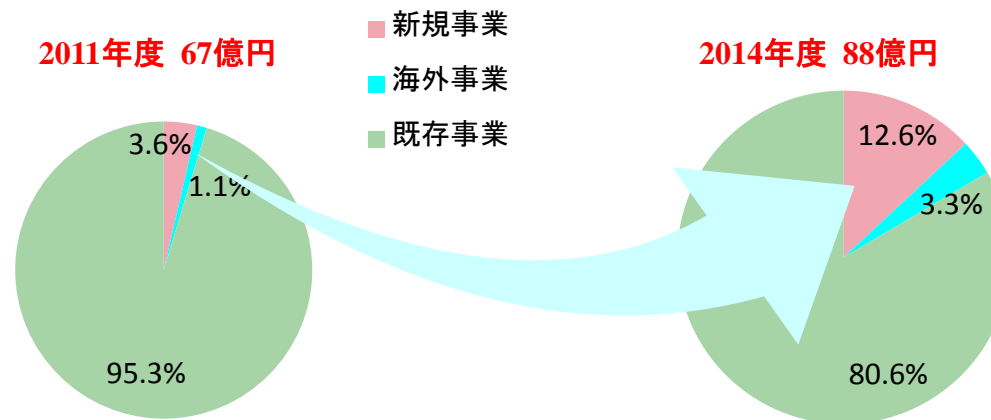


- ・中国は2008年に米国を抜き世界第1位へ
- ・日本は第3位

V. 「CS VISION – I」(4) 部門戦略－樹脂事業



- 水性化、VOC低減に資する環境に優しい高付加価値製品の投入等による製品ポートフォリオの組替え
 - オフセットインキ用樹脂
 - ✓ユーザーニーズに即した環境対応・高性能製品の開発
 - グラビア・フレキシインキ用樹脂
 - ✓水性グラビア・フレキシインキ用樹脂の国内外への拡販
 - 記録材料用樹脂
 - ✓各種トナーの高性能化に寄与する部材の開発、拡販
 - 新事業領域／新素材
 - ✓シーラー用エマルジョン、耐油コート剤用エマルジョン等の拡販



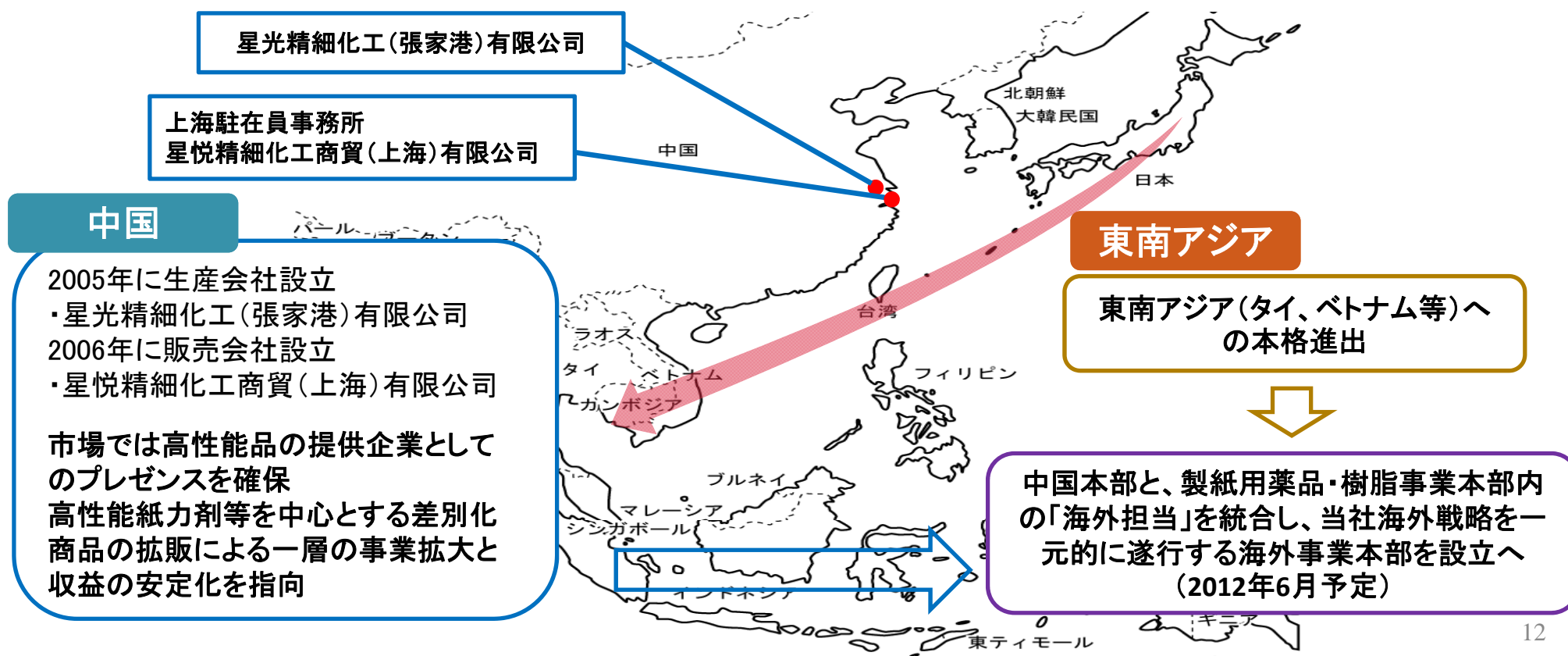
新規事業領域、海外売上の拡充

V. 「CS VISION – I」(5)事業領域の拡大 ～海外事業展開の加速～



➤ 既存事業の地域的な拡大

- 成長著しい中国・東南アジア市場での展開
 - ✓ 既に製紙用薬品・樹脂市場が形成されている中国における高性能、差別化商品の拡販
 - ✓ 今後、市場の形成が見込まれる東南アジア地域へのアプローチ
(日系顧客の進出、現地企業の製造処方の高度化)



V. 「CS VISION – I」(6) 事業領域の拡大～新規事業の探索・事業化～

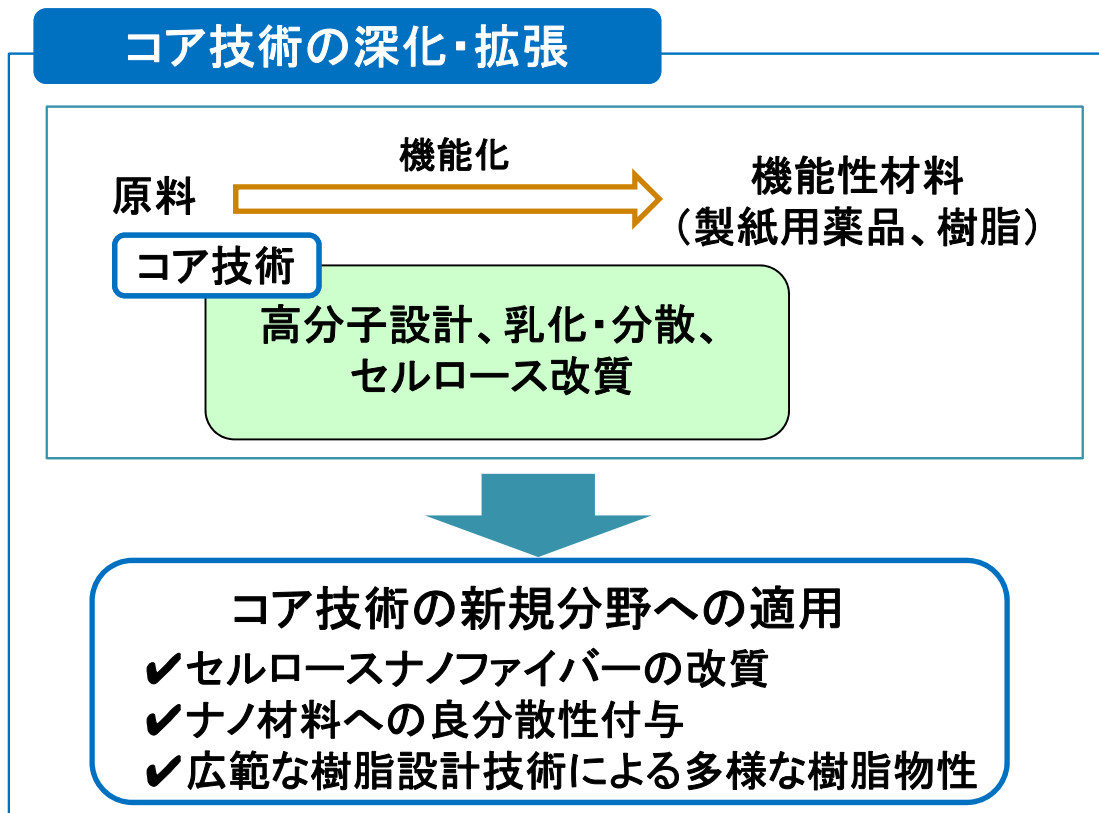


➤ コア技術の適用範囲の拡大

- 再生可能な環境資源(セルロースナノファイバー)
- エレクトロニクス関連材料(銀ナノワイヤ、感光性材料等)

➤ 新規テーマ探索、早期事業化

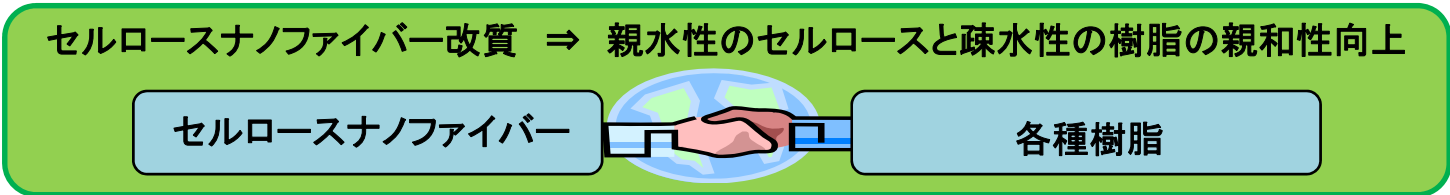
- 大学、他企業との密接なチャンネルの構築





➤ コア技術の適用範囲の拡大

- 再生可能な環境資源(セルロースナノファイバー)
- エレクトロニクス関連材料(銀ナノワイヤ、感光性材料等)



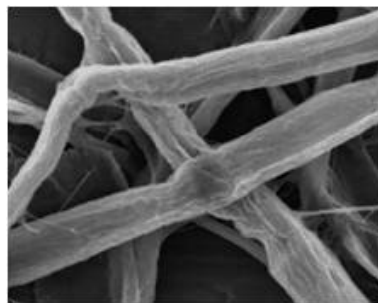
再生可能資源、環境材料

セルロースナノファイバー (CNF)

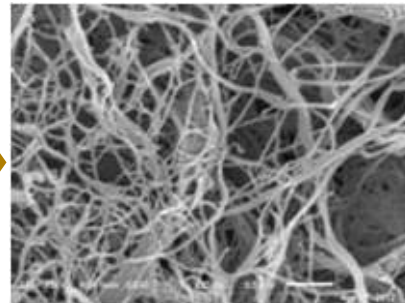
NEDO・グリーンサステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発
 ～セルロースナノファイバー強化による自動車用高機能化グリーン部材の研究開発～

【セルロースナノファイバーの特徴】

- ・地球上で最も豊富に存在する有機物
- ・ナノサイズの直径
- ・鋼鉄の1/5の軽さ、5倍の強度
- ・ガラスの1/50の低熱膨張性



木材繊維(パルプ)
 繊維径: 数十 μm



CNF
 繊維径: 数十 nm



各種樹脂の高強度化

- ・鋼板部材の置換 軽量化 → 燃費向上
- ・部材薄肉化 家電、モバイル機器等の軽量化

ガラス繊維等の補強部材の置換

- ・再生可能な天然資源の利用
- ・易リサイクル性(不燃材料→可燃材料)

V. 「CS VISION – I」(8) 事業領域の拡大 ～新規事業・重点テーマ例(2)～



➤ コア技術の適用範囲の拡大

- 再生可能な環境資源(セルロースナノファイバー)
- **エレクトロニクス関連材料(銀ナノワイヤ、感光性材料等)**

アプリケーション例



乳化・分散、高分子設計技術を応用した、各種機能性材料の開発

導電性材料

銀ナノワイヤ(AgNW)

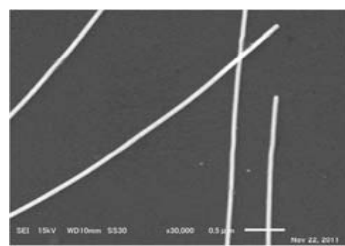
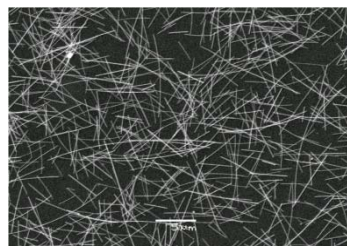
nmサイズの直径、 μ mサイズの長軸長

銀由来の性質

- ・導電性 導電膜への適用
- ・柔軟性 フレキシブルディスプレイへの応用

ナノワイヤ由来の性質

- ・塗膜透明性 ワイヤ間の広い隙間を光が透過(ディスプレイの視認性良好)



乳化・分散技術の応用による
良分散性、良塗膜形成性の塗工液開発

感光性材料

高透明粘着剤

Optical Clear Adhesive(OCA)

タッチパネル等の光学部材張り合わせ用粘着剤

- ・高透明性 視認性良好
- ・高柔軟性 衝撃吸収性(耐落下、タッチパネル用途)
- ・高接着性 様々な環境下での長期安定接着



高分子設計・配合技術の応用による
物性(硬化性、透明性、柔軟性、接着性)コントロール

V. 「CS VISION – I」(9)外部資源の活用



➤ 事業領域拡大の手段としての業務提携やM&A等の外部資源の活用

- 補完関係にある企業との業務提携
 - ✓ 顧客に対するより包括的なソリューションの提供
 - ✓ 川下への進出(開発技術の適用範囲の拡大)
- 内外M&Aを活用した事業の成長の加速

➤ 資本提携、M&Aを可能にする厚い自己資本を梃子にした外部資金調達力

当社連結BSの現状 (億円)

総資産	264
自己資本	193
自己資本比率	73%
有利子負債	11
(内 長期借入)	0
有利子負債比率	5.7%

2012年3月末現在

V. 「CS VISION – I」(10)筋肉質の企業体質へ



- 事業環境の変化に即応した**経営資源の機動的な再配分**
 - 人材の有効活用
 - ✓ 伸長事業への積極的な要員投入
 - 生産体制の効率化
 - ✓ 選択と集中、新たな業務分野への進出に伴う生産体制の統合・再編

- **人材基盤の強化**
 - 多様化する事業を担う人材を育成する採用・研修人事制度の整備

ご静聴ありがとうございました



星光PMC株式会社

～ **会社も生き生き、社会も生き生き** ～

(参考1) 「CS VISION- I」 期間中の業績概要



(百万円)

	2011年度 実績	2012年度	2013年度	2014年度
売上高	22,716	23,630	25,452	27,080
営業利益	1,059	1,490	2,045	2,620
営業利益率	4.7%	6.3%	8.0%	9.7%
経常利益	1,106	1,560	2,086	2,660
純利益	349	1,060	1,470	1,883
EBITDA	2,125	2,456	3,114	3,722
設備投資額	479	984	1,232	1,097
減価償却費	1,066	966	1,069	1,102
研究開発費	1,533	1,672	1,728	1,766
売上高比率	6.7%	7.1%	6.8%	6.5%

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費



「持続的成長と企業体質強化のためのアクション・プラン」の成果

➤ コア事業の基盤強化

- 製品販売ポートフォリオの変革
 - ✓ 薬品のシステム販売の立ち上げ: 板紙アルカリ抄紙システム
- 顧客基盤の拡充
- ソリューション提案型営業の推進
 - ✓ 営業と技術を結ぶCS部の創設

➤ 研究開発成果の事業化へ向けた地歩固め

- コア技術を活かした研究開発の事業化とシーズ育成
 - ✓ 感光性樹脂の販売開始
- 外部機関との連携による研究開発の促進
 - ✓ 産学共同プロジェクトへの参画(NEDO)

➤ ステイタスの向上

- 東証一部指定(12年1月) – 資本調達力

~ 企業体質強化により、飛躍のための体制整備が進捗 ~

➤ 連結業績推移

- 前中期経営計画期間以前の3年間(2006年度～2008年度)に比べ、コア事業の基盤強化により、営業利益率の水準は大幅に改善

